

榎本前市政の「ツケ」検証道半ば

29年度決算認定議案に対する反対討論大要

9月27日の鶴岡市議会決算特別委員会において、日本共産党の菅井巖議員は平成29年度決算の認定について、反対討論を行いました。反対討論の要点は次の通りです。



菅井 巖議員

この度の決算は、前

榎本市政の下で、編成された予算に基づき市政運営が行われたものであり、我々は当初予算について問題を指摘し、反対をした。

市町村合併後の地方交付税の段階的縮減が続くなか、その矛先は行財政改革、独自サービス削減と住民負担増、業務と施設の統廃合、指定管理等による民営化、地域庁舎の業務見直し等が進み行政力の低下を招いているのではないかと懸念している。

サイエンスパーク民間任せは問題

サイエンスパーク構想と整備事業には、民間アベロップターの開発に別格な市の支援を行っています。先ごろ竣工された児童屋内遊戯施設建設への補助金では、場所の利便性や施設利用料問題など、市民目線からすれば課

題と指摘される部分が多くあり、民間事業任せではなく、市民が必ずやとしていた施設だったことから、その声をしっかりと聞くべき。

最終処分場問題 前市長は対話せず

上郷地区大荒の一般廃棄物最終処分場問題では、候補地選定の経過や進め方に、住民から不満と不安の声が上がり、地域住民の有権者過半数の署名が提出されても、前市長とは一度も直接対話がされずにいた。皆川市長は地元住民との対話姿勢を貫き、事業推進の合意形成のプロセスに問題があったことを認め、反対していた方々との合意がされ、地元の方々の同意も得て事業が進展し始めた。

学校適正配置が推進され、結果小学校を14校が廃校となり、そうした地域の住民に苦渋の選択が迫られ、地域の衰退につながっている。

文化会館建設問題

いまだに不満の声

新文化会館建設の問題は、建設費が当初予算の2倍を超えたことに市民の理解が得られず、昨年の市長選の争点にもなった。建設完了後に発生した「雨漏り」「音漏れ」、開館後の利用者からは複雑な席配列の戸惑いや、駐車場確保の問題など、いまだにその不満の声を聞く。第三者委員会が設置され検証がされているが、結論はまだ出ておらず、市民への明確な説明責任が待たれるところ。

フリーデヴァー事業計画に甘さ

フリーデヴァーについては、先の6月議会ですべての補正予算が審議され、事業計画の見通しの甘さなどが指摘され、施設の維持管理経費の見直しが行われる事態となり、引き続きその経過を見守る必要がある。

国保会計過去最大黒字の中負担増

国民健康保険では27年度は全国的にC型肝炎新薬の影響で医療費が大きく伸びたこと

で、28年度の増税が行われたが、高額新薬の薬価改定があつて28年度の医療費は減少し、決算は過去最大の6億6千万円の黒字、29年度決算でも6億4千万円の黒字になり、28年度の増税、29年度の税率を据え置きは市民の負担増を招いた。

上下水道民営化は行政力喪失

水道事業及び下水道事業では、窓口収納の包括業委託が開始されたというものの、いま検討されようとしている広域化や、国が現在推進しようとしている民営化などの方向を考えると健康に欠かせない「上下水道」の民営化の導入は行政力の喪失につながり、容認することはできない。

介護住民主体サービス 介護保険では、「日

常生活支援総合事業」の住民主体の通所型サービスでは、週3回開催、参加者は一開催あたり10人以上など要件が設定され、私どもは協議の際に出されていた「厳しい」との声を再三指摘してきた。結果は1団体しか運営にこぎつけられず、今年度に見直しが行われ、要件緩和されるに至っている。

高齢者を年齢で区切る制度に同意できず

後期高齢者医療保険については、軽減措置を国が29年4月から段階的に縮減し、本市においてはその影響が所得割5割軽減であった2610人が2割軽減となり、さらに30年度は2割軽減の2719人の軽減措置が廃止された。高齢者負担増を招き、高齢者を年齢で

訂正

前号2面の故須藤美也子元参院議員偲ぶ会の記事において「尺八の献奏」との記述がありました。が、正しくは「琵琶の献奏」でした。お詫びして訂正いたします。

一刻も早く教室にエアコンを

「教室エアコン設置」請願賛成討論要旨

市内公立小・中学校の普通教室及び特別支援教室に『エアコン設置』を求める請願について、日本共産党の長谷川剛議員が賛成討論を行いました。要旨は次の通りです。

「市内公立小・中学校の普通教室及び特別支援教室に『エアコン設置』を求める請願」について、日本共産党の長谷川剛議員が賛成討論を行いました。要旨は次の通りです。

東京と222円の格差、若年労働力流出

「最低賃金改善」請願賛成討論要旨

「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の採択を求める請願」について、日本共産党の山田守議員が賛成討論を行いました。要旨は次の通りです。

上の大企業の内部留保は425兆円にも及び、一昨年度より22・4兆円増加している。山形県763円、東京都985円の賃金格差は222円の格差と

なり、若年層の労働力の県外流出、県内人口減少、高齢化の加速化していることにも影響が及んでいるのではないかと。鶴岡市の事業所の99・4%が中小企業で、アメリカ、フランスなどのように、中小企業に対する減税や社会保障料の減免などの本格的な支援を行い、最低賃金の地域格差をなくし、地域経済を活性化することがなによりも求められていると考える。

22日と23日の講演・特別報告の会場は「休暇村羽黒」で、どなたでも参加できます。山形県内の参加者は参加費無料です。参加希望の方は事務局まで問い合わせ下さい。

記録的猛暑や豪雨をはじめ世界的に異常気象が深刻化している。中小学校の教室では、8月23日には、室温も上昇、37℃を計測した学校があり、授業時間を短縮するなど対応も出ている。

労働者の実質賃金は、この5年間で年額16万円も低下し、家計消費は22万円も落ち込み、「金融資産を持たない世帯」が400万世帯も増加している。その一方で、2017年度の資本金10億円以

「2018日本宗教者平和会議」が今月22日から24日まで鶴岡市で開催されます。

国連宣言と地域生活協同組合運動」講師 大高全洋氏（山形大学名誉教授）

現地実行委員会事務局 0235-24-5496（大高）

季節外れの暑さの中稲刈り

庄内産直センターと保育園が交流会

7日～9日、庄内産直センターと横浜の苗場保育園・緑園なえは保育園との稲刈り交流



稲刈り終了後、みんなで記念撮影

保育士23人の計71人が大型バス2台で来訪。台風の影響による季節外れの暑さの中、汗だくになりながら園児と生産者がペアになり稲刈りを行いました。組合員として菅井巖市議も参加しました。

建築課入札結果（ ）内は予定価格
10月4日入札分
・市立保育園保育棟 鶴岡産木材購入（無垢材）（入札4業者）出羽庄内森林組合 11,400,000円 期間～31/1/18
・市立あさひ小学校プール廻り給水管等改修工事 不調
・市斎コミュニティ防災センター下水道接続工事 不調

土木課入札結果（ ）内は予定価格
10月4日入札分
・五十川線落石対策事業設計業務（五十川地内）（入札12業者）（有）佐藤測量設計事務所 2,000,000円（2,112,000円）期間～31/2/28（落札率94.70%）
・市道暮坪1号線（暮坪橋）道路改良工事（入札5業者うち1業者辞退）（株）和泉工務店 16,750,000円（17,122,000円）工期～31/3/22（落札率97.83%）

教育委員会管理課入札結果（ ）内は予定価格
10月4日入札分
・市立あさひ小学校プール廻り給水管等改修工事（入札7業者）（有）東管工業 2,200,000円（2,310,000円）工期～11/30（落札率95.24%）

下水道課入札結果（ ）内は予定価格
10月5日入札分
・市特定環境保全公共下水道事業 小堅浄化センター給水工事（堅苔沢地内）中止
10月1日入札分
・市公共下水道事業 汚水1号幹線13-23-1-2号ほかマンホール等 新設工事（藤沢地内）（入札4業者うち1業者辞退）森建設工業(株) 27,400,000円（27,757,000円）工期～31/3/22（落札率98.71%）
・市公共下水道事業 汚水13J0086～090号ほか路面復旧工事（茅原地内ほか）（入札7業者）板垣建設(有) 10,900,000円（11,279,000円）工期～12/21（落札率96.64%）
・市特定環境保全公共下水道事業 汚水5062～5064号路面復旧工事（小波渡地内ほか）（入札5業者）（株）佐藤渡辺 22,900,000円（23,558,000円）工期～12/21（落札率97.21%）

主な日程
22日(月) 14時45分 講演「平和への権利」 報告者 柿田睦夫氏
16時30分 特別報告「いま、創価学会は」
22日(水)はオプショナル

(宗教ジャーナリスト)

23日(火) 8時30分

特別報告「山岳宗教集落のくらしと修験道」
報告者 斎藤三郎氏
(出羽三山神社責任役員理事)

9時30分
市内各施設見学
12時30分

生協協立社本部・生協等の施設訪問

24日(水)はオプション

22日と23日の講演・特別報告の会場は「休暇村羽黒」で、どなたでも参加できます。

山形県内の参加者は参加費無料です。参加希望の方は事務局まで問い合わせ下さい。

現地実行委員会事務局
0235-24-5496（大高）

日本宗教者平和協議会
03-3832-0842